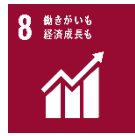


SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2025年11月13日

事業者情報					
事業者名		PISTY GROUP 合同会社			
代表者 職・氏名	職名	代表			
	氏名	伯部利幸			
ホームページ URL (任意)		https://www.pistygroup.jp/			
事業者ロゴ (任意)		 PISTY GROUP ビスティグループ不動産			
事業者としての2030年のあるべき姿					
原状回復工事と不動産仲介の双方に対応し、住まいに関わる課題を丁寧に解決する会社になる。 退去時は、原状回復工事を適正価格・適正品質で行い、物件の価値維持とオーナー・管理会社との信頼関係を築く。 入居時は、不動産仲介として物件探しをサポートし、現地集合やオンライン相談など、来店に依存しない対応で利用者の手間を減らす。 メリット・デメリットを正確に伝え、判断に必要な情報を提供する。 入居・退去のどちらの場面でも、「この会社になんて良かった」と思われる仕事をする。					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を實現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
					○
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
○	○	○		●	○

																	
						○			○								
目標の達成に向けた重点的な取組内容等																	
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)				SDG s ゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)				目標の達成に向けた重点的な取組									
①	経済	✓	【メイン】				現地集合・オンライン対応など、柔軟な働き方を推進し、従業員の時間や働きやすさを尊重する。 業務の効率化と適正報酬の両立を図り、持続的に成長できる職場環境を整備する。										
	社会	□	8														
	環境	□	16														
②	経済	✓	【メイン】				原状回復工事で発生する廃材のリサイクルや再利用を進める。 過剰な工事・無駄な交換を避け、環境負荷の少ない修繕を実施する。										
	社会	□	12														
	環境	✓	15,11														
③	経済	✓	【メイン】				従業員に対して定期的な研修を実施し、施工技術研修を進める。 個人情報の取扱いについて、個人情報保護法に則り取り扱うよう研修を実施する。										
	社会	□	8														
	環境	□	4, 9														

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	会議やお客様対応をオンラインにしたことにより、従業員の時間が効率化している。業務効率の改善の兆しがあり労働環境改善がみられる。		
②	クロスなどの切れ端を他の箇所にて再利用し、無駄を削減。 見積時に設備の交換が必要な状況でも補修で対応でき		

	るように努めている。		
③	リペア補修の研修講習や電気工事士試験の受験などを実施。 個人情報保護士試験の受験も兼ねて、個人情報についての講習を実施。		